

2023年 12 月 20 日 発行 (第 30 号)

東京歯科大学大学院歯学研究科



大学院だより

2023 年度 大学院 Elective Study



サンノゼ州立大学工学部訪問：2023/9/11（月）

大学院 elective study は、新型コロナウイルスの流行期には中断を余儀なくされていましたが、4年ぶりに実施されました。社会歯科学講座大学院2年次の石井大貴先生とオーラルメデフィスン・病院歯科学講座大学院2年次の長谷川陽先生の2名が参加されました。以下は、elective study 研修帰国報告です。

2023年度 大学院 Elective study 報告

社会歯科学講座
大学院 2年次 石井大貴

およそ4年ぶりに開催された大学院 Elective study に、オーラルメディシン・病院歯科学講座の長谷川陽先生と共に参加させて戴きましたのでご報告いたします。

・はじめに

この様な貴重な機会を与えて戴いた井出吉信理事長、一戸達也学長、大学院関係の皆様、そして本研修開始から修了まで、さらに帰国後の現在もご指導を戴いている主催者の井手祐二先生に厚く御礼を申し上げます。また私自身の学会発表、学部生への講義・実習と講座のスケジュールが立て込む中で参加応募を許可して下さった平田創一郎教授、大澤航介助教に深謝申し上げます。

・研修概要とスケジュール

プログラム名：国内大学連携 カリフォルニア・イノベーション研修

主 催：US-Japan Forum

期 間：2023/9/9～9/18

開 催 地：アメリカ合衆国 カリフォルニア州 サンフランシスコ・ベイエリア

参 加 校：東北大学、筑波大学、新潟大学、東京歯科大学（学部生、大学院生 計 5名）

1日目：サンフランシスコ国際空港着

オリエンテーション、サンノゼ日系アメリカ人博物館見学、
講演会「米国の歴史と文化」 井手祐二氏（US-Japan Forum）

2日目：実践英語およびプレゼンテーション英語研修、ファーマーズマーケット見学、
講演会「シリコンバレーにおけるイノベーションと産学連携」 井手祐二氏（同上）、
起業家講演会 藤井青美氏（eStat Hawaii）

3日目：1 Dollarscan 社訪問、サンノゼ州立大学訪問および工学部交流会、
日系移民講演会「平和の天使になりなさい」 内田誠一郎氏

4日目：Intel Museum、Google LLC、Apple Park Visitor Center 訪問、

- プロフェッショナル・セッション 河合竜弥氏 (1 Dollarscan) 、佐溝元彦氏 (Sumitomo Chemical) 、Milana Kuzmanovic 氏 (WiL)
- 5 日目: サンフランシスコ市内見学 (ゴールデンゲートブリッジ、リンカンパーク、ウォーメモリアルオペラハウス) 、カリフォルニア大学バークレー校訪問および工学部交流会
- 6 日目: スタンフォード大学訪問および睡眠生体リズム研究所における講義受講、プロフェッショナル・セッション 大島充氏 (Google LLC) 、山舗智也氏 (Dandelion Chocolate)
- 7 日目: 日米未来フォーラム会場設営・受付・発表、講演会「Generative AI Tech Front」 Kiyoshi Nakayama 氏 (TieSet, Inc.)
- 8 日目: 自主学習日
- 9 日目: 研修修了式
- 10 日目: 成田国際空港着

・本研修参加前の私

私は法学部を卒業した後、本学歯学部にて学士編入学しました。かねてより歯科医療アクセスの格差是正と法政策に興味があったので、歯科医師免許取得後、歯科医療を社会的見地から研究する社会歯科学講座の門を叩きました。昨年大学院に入学し順風満帆な日々を送らせて戴いていましたが、歯科医療のみならず日本の未来を良くすることを考えたとき、「海外から日本を客観的に考察することも改善を図る上で必要なのではないか?」といった疑問を抱くようになりました。しかし、その答えを導き出すような機会との縁はなく、英語をツールに見識を広める重要性に気付いていながらも、海外に行き意見を交換するといった行動までは起こさず日々を過ごしていました。

・人生の転機となった本研修

先端技術のメッカであるシリコンバレーを内包するサンフランシスコ・ベイエリアにて開催された本研修は、正に人生の転機とも言える一大イベントとなりました。本年度は私を含め、全国から参加したのは5名でした。人数こそ例年に比べ小規模でしたが、異なる分野で学業に励む方々と海外で勉強した経験は、何事にも代えがたい貴重なものとなりました。

少人数であることを生かした効率的かつ濃密な滞在を、井手先生が実現して下さったことも充実した研修となった大きな要因です。早朝より井手先生自らその日の研修・見学施設に連れて行って下さり、どこまでも続く青い空の下、サンフランシスコ・ベイエ

リアの発展と日米の歴史を学べたのは最高の体験でした。カリフォルニアの豊かな自然に溶け込んだ世界的な名門大学を訪問し、工学や睡眠研究のトップランナーから直接のご指導を戴き、さらに学生交流を行えたことも大変良い思い出です。また夜ともなれば、シリコンバレーを拠点に日米でご活躍されている起業家の方、スタートアップ企業の社長、そしてエンジニアの方々等による講演会やセッションといった非常に有意義な時間を設けて下さいました。どの方も確固たる信念を持っておられ、人生を謳歌されている姿には刺激を受けずにいられませんでしたし、「日本を客観的に見て行動することは未来を良くするためにも重要です。」と力強くご教示戴いたことは抱いていた疑問への一つの答えとして、また、いくつもの選択肢がある私の前途を照らす光明のような気がしました。

・日米未来フォーラムについて

日米未来フォーラムとは、次世代を担う日本とアメリカの若者のために、そして両国の新しい関係を考え行動することを目的として開催される本研修のメインイベントです。参加者の学生は事前に与えられたテーマをもとにアイデアを練り、何度もディスカッションをし、錚々たる顔ぶれの前で英語でのプレゼンテーションを行います。

本年度は【Future life with AI technology -AI 技術で変わる未来の生活-】がテーマでしたので、私は歯科医療アクセスの格差是正に AI 技術を応用するアイデアを発表しました。日本とアメリカ、両国共通の問題を最新技術の力によって解決できないかと考えたのです。恥ずかしながら話す英語は流暢さに欠けましたが、アイデアを何としても伝えたい意思が緊張に勝り、気付いたときにはその場を楽しむ自分がありました。さらに、聴衆の方から好評を戴いたことで自信が生まれ、本アイデアの具現化に加えて英語能力とプレゼンテーション能力のさらなる向上を図ることを決意しました。

・今こそ私たちが学ぶべきもの

本研修全体を振り返り思うのは、失敗を恐れず行動を起こした一人一人の成功への想いを真摯に称えあい、互いに高めあうことでイノベーションを起こす環境を醸成しているサンフランシスコ・ベイエリアの風土から、私たち日本人が学ぶべきものは多いということです。それは昔、新世界への抱負と不安を胸に横浜から単身渡米の途につき、苦難の末、日本の歯科医学教育の開拓者となった高山紀齋先生や、日本人として初めてアメリカで歯科医院を開業した一井正典先生の崇高なフロンティアスピリットにも同じことが言えると考えます。お二方の共通点として、アメリカでのキャリアの起点がサンフランシスコだったということと、本学の礎を築かれたことがあります。

・ビジョン、目的、目標

私のビジョンは、いつ、どこにいても、誰もが公平な歯科医療アクセスを可能とする社会を築くことです。その目的は、日本を含む世界の歯科医療アクセスの格差を是正し、人々に自身の口腔環境について正しい価値を見出して戴くことです。では、達成する為の目標は何か。まずは、「高い英語能力と行動力を持つグローバル人材として」本学大学院を卒業し学位を取得することを、明確な中期目標として設定し直しました。

ビジョンと目的を明確にし、現時点との差分を分析した上で、それをいかにして埋めるか思索する。また目的を実現するための具体的な目標を設定し、合理的に行動することを意識する。これは本研修で改めて学んだことです。以上を意識しつつ本学において研究・教育に邁進し、ひいては世界の発展に繋がる何かを生み出せたら、こんなに幸せなことはありません。



Intel Corporation 創業者の一人である Robert Noyce 氏のメッセージが、脳裏に焼き付く。

Intel Museum にて：2023/9/12（火）



プロフェッショナル・セッション：2023/9/12（火）



カリフォルニア大学バークレー校にて：2023/9/13（水）



スタンフォード大学にて：2023/9/14（木）



日米未来フォーラム開幕直前：2023/9/15（金）



日米未来フォーラムでの発表：2023/9/15（金）

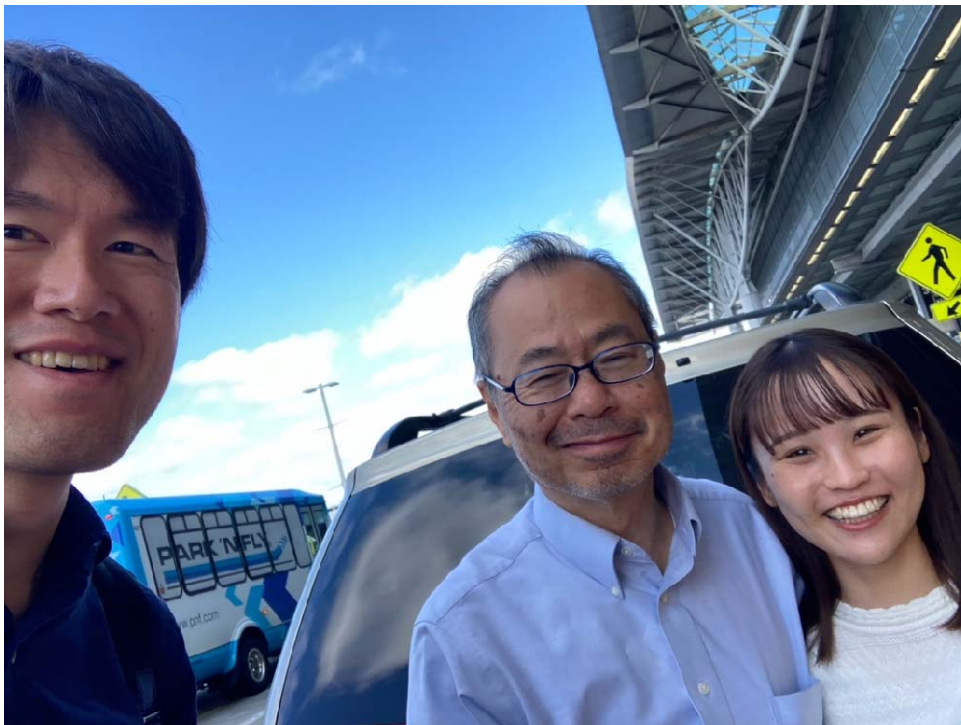


霧のサンフランシスコ：2023/9/16（土）



研修最終日の朝、滞在した部屋を背に

Ramada by Wyndham Sunnyvale/Silicon Valleyにて：2023/9/17（日）



帰国直前

サンフランシスコ国際空港にて：2023/9/17（日）

2023 年度 Elective study 参加報告

オーラルメディシン・病院歯科学講座 大学院 2 年次 長谷川陽

9 月中旬、4 年ぶりに開催されました Elective study に参加させていただいたのでご報告いたします。

今回の研修では、歯科という限られた視点にとらわれず、異なる分野を専門とする学生や、研究者、技術者の方とのコミュニケーションを通じて、世界がどのようなことに注目しているのかを学び、広い視野を身につけることを目標としておりました。私は大学に入学してから今まで、歯科を専門とする人との関わりを中心とし、歯科に関する知識を学んでいて、それは歯科医師としては当然のことかもしれません。しかし、自分が診療で接する患者のほとんどは自分と異なる背景を持ち、異なる価値観の中で生活していると言っても過言ではないと考えています。また、covid-19 のパンデミックの収束後、国際交流は以前よりも盛んになりつつあると感じています。そのような中で、自分も様々な人の立場で多面的に物事をとらえる力を養う必要があると感じておりました。

「広い視野」とは短期間で身につくものではないと思いますが、研修を通し、数々の経験を経てアメリカで生活する方の講演を伺ったり、同じ講演を聞いても他分野を専門とする学生とは捉え方が異なったり、それだけでも違う価値観に触れることができ、視野を広く持つ第一歩になったと思います。また、研修の中で、シリコンバレーの企業や、3 つの大学を訪問しましたが、共通して感じたことは様々な国や地域にルーツを持つ人が入り混じっていることで、そこに日本人が圧倒的に少ないことです。日本人は言語の壁などを理由として海外に出る人が少なく、日本国内で日本の価値観だけの仕事で満足してしまっていると感じ、まず外に出て多様な価値観に触れてみないことには国際的な視野は身につかないと痛感いたしました。現地の学生とのディスカッションを通して、自分の英語力の不足を改めて自覚し、もっと努力しなくてはと思いましたが、この気付きもこの研修に参加したことで得たものであるし、自分の知らない世界に飛び込んでみるということがいかに重要かということを知りました。

私は研修の中で、各大学訪問が最も印象的で学びが多く、楽しい思い出となりました。サンノゼ州立大学では、工学部の研究室の見学や学生交流の中で、自分が普段行っている医療系の研究とは全く異なる空間に触れることができました。この研修のテーマは未来における AI 技術について考えるということでしたが、学生交流では私たちが考えた AI のアイデアに対し、学生が積極的に意見をくださり、教授や学生の垣根なく皆が

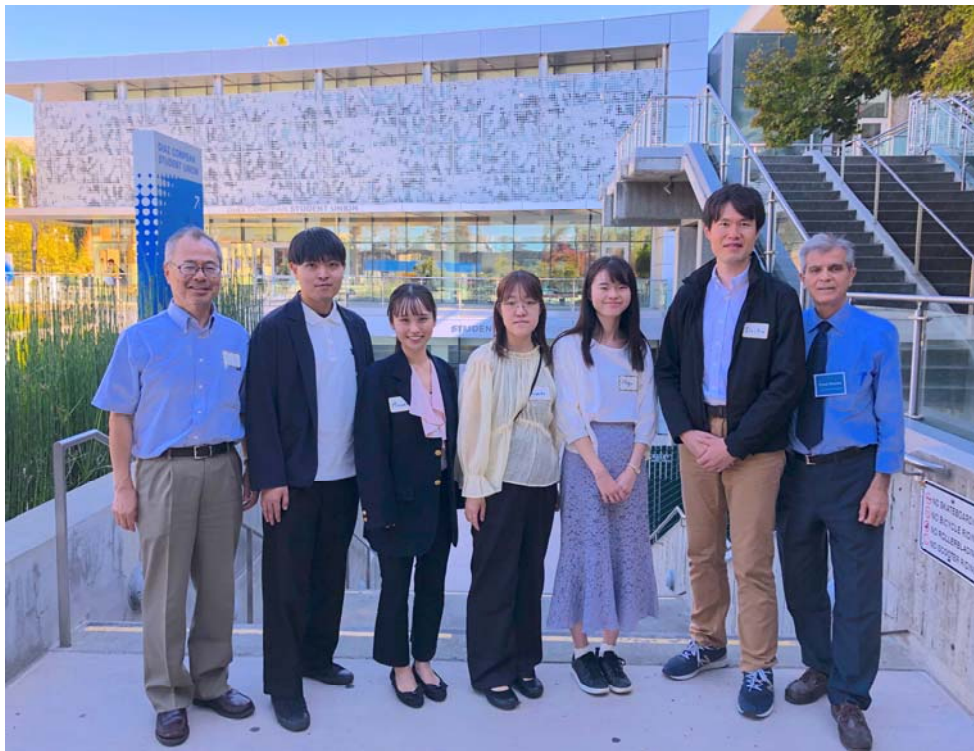
自由に意見を出し合える環境が新たなアイデアを生み出し、イノベーションにつながるのだと感じました。UCバークレーでは、工学部に在籍する学生がほぼアジアからの留学生だったことに驚きました。彼らがなぜアメリカで研究しようと考えたのか、留学に際しての苦労話など、学生ならではの会話が楽しめたことが強く印象に残っております。また、留学生の中に日本人がとても少なかったことに多少の焦りも覚えました。スタンフォード大学では、医学部の研究室で実験施設や動物舎を見学し、普段自分が使っている研究室との共通点も多く、海外での研究をより身近に感じることができ、自分もここで研究してみたいという憧れの気持ちも生まれました。スタンフォード大学の付属病院も見学する機会を頂き、病院内には入りませんが、外観からその規模に圧倒されました。これまで韓国、台湾の病院を見学した経験がありますが、海外の病院見学は毎回心躍るものがあり、今回も好奇心が刺激されるとともに、今後も歯科医師として世界の医療に常に目を向けていきたいと思いました。各大学で多くの学生と連絡先を交換し、相談しあえる関係を築けたこともこの研修で得た財産だと感じます。

また企業訪問、現地で活躍する起業家や研究者の方々の講演を伺うことができたこと、日米未来フォーラムへの参加などは、普段、歯科関係の狭い世界で過ごしている私にとって、日常では経験することの出来ない充実した時間となりました。現地で活躍する方々の講演では、人間関係の築き方や、ビジネスを成功させるための秘訣など、どこの国でどのように働くかに関わらず人生において大切なことを沢山伺うことができました。特に皆様が共通しておっしゃっていた、人生に失敗はつきものだが目標をもって諦めずにいたら何とかできるという言葉が印象的でした。日米未来フォーラムでは英語のプレゼンテーション自体が初めてだったので、プレゼンテーションに必要な英語や、見やすいスライドの作り方なども学び、プレゼンテーションの後に、いらして下さった方のお話や質問を伺うことで、自分のプレゼンテーションのフィードバックを行うことができました。この経験は今後の国際学会などに応用していきたいと思います。

今回の研修で様々な方との交流を通じ、何かに挑戦することに年齢は関係ないこと、諦めることは簡単だけれども諦めないでやってみた先に得るものがあるのだと強く感じました。年齢を重ねるにつれ、何か目標を掲げることに自ら限界を決めてしまいましたが、今後は自分のやってみたいことに正直に、今できる努力から始めていきます。また、この研修を生かし、自分と異なる価値観を感じ取り、世の中のニーズに応えることの出来る歯科医師を目指していきたいと思います。

最後に、このような素晴らしい機会を与えて下さった、井手裕二先生、講演をして下さった方々や各大学の関係者や学生の皆様、東京歯科大学大学院の先生方・関係者

の皆様にご挨拶いたします。今回得たものを、自分の中だけで完結させるのではなく、周りに伝え、世の中に還元していきたいと感じました。



サンノゼ州立大学にて



UC バークレーの門の前にて



UC バークレーの学生との交流会



スタンフォード大学にて



日米未来フォーラム

大学院入学説明会

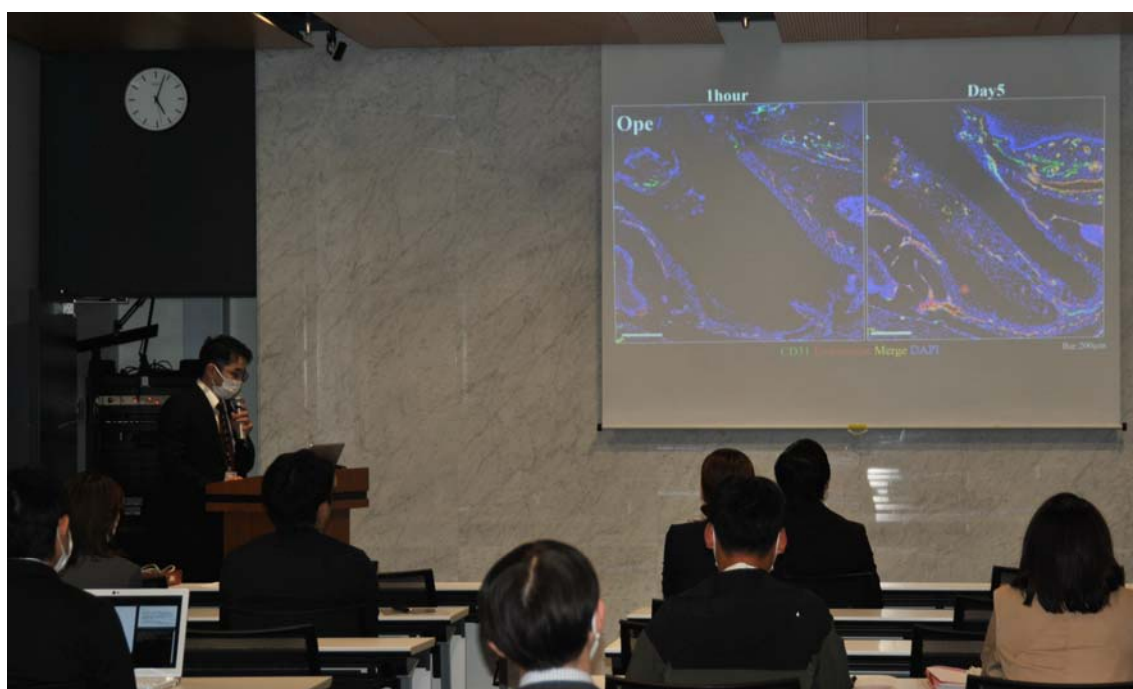
2023年9月28日及び29日の2日間に渡り、令和6年度大学院入学者に向けた説明会が開催されました。各講座とも熱くアピールしました。



講座の説明をされるクライnbrリッジ学講座の関根秀志教授

大学院 3 年次研究進捗状況報告会

2023 年 10 月 24 日、25 日、26 日、27 日の 4 日間に渡り、大学院研究進捗状況報告会が行われました。大学院 3 年次 38 名が、これまでの研究進捗状況とこれから完成までどのように進めるかについて、発表しました。研究分野の異なる大学院生間の垣根を超えた活発な討論が交わされました。大学院 3 年次生にとって、有意義な時間でした。



多くの大学院生および研究指導者が参加しました。

大学院学生総会

2023年11月15日(水)18時よりWebにて2023年度の大学院学生総会が開催されました。

編集後記

本大学院だよりは、2名の大学院生が渡米した Elective Study が主な編集となりました。2名とも、とても充実した時間を過ごしたようです。来年度も多くの大学院生が参加に挑戦していただきたいです。地球は寒気を忘れたのかと思うほど、冬らしくない日々が続いていましたが、やっと寒くなってきた今日この頃です。4年次の大学院生は、体調を崩さないようラストスパートしてください。(福田 記)